

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.41



2019.6/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1
TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812
E-mail: t356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



ある日の高森荘

今年の一文字

新年の事始めの一つに「書初め」があります。

「一つの字に自分の思いを込めて、書きましょう」と新しく『今年の一文字』というレクを始めました。

僅かな時間でも、紙に向かい、墨の匂いを感じながらの書道は、心に余裕をもたらします。このレクを単発にしないように、これを機に年間を通じた「筆で遊ぼう会」というレクも始めます。

日常生活の中に少しでも「潤い」が増える事を願っています。

平成30年度高森荘事業報告

1、個別支援計画(施設障害福祉サービス計画)の充実

指定基準遵守が前提のケアプランは生活機能の改善がより実感できる内容に変更。これまでのプランは「サービス等利用計画」に反映する。県の実地指導において方法論について指導を仰ぐ。記録システムを含め一定の評価を得ることができた。

2、安全なサービス提供(リスクマネジメント)の確立

今年度も事故の予見予防を心掛けヒヤリハット事例の検証とチームアップローチを徹底する。要因分析や横断的な予防策はリスクマネジメント委員会を中心に各委員会で検討した。

3、第三者評価について

指導監査の年度にあわせ初めて福祉サービス第三者評価を受審する。各種の評価結果を参考に福祉サービスの質の向上に努めていきたい。

4、生活介護(生産活動)のあり方

委託加工による下請け作業を継続する。工賃増

収を目的としない方針により新たな取り組みはなかった。作業意欲と適応能力、作業量の変動と余暇活動、医療的サービス、機能訓練のニーズ、支援メニューの再構築が必要と感じる年度となった。

5、職員の資質向上のための取り組み

喀痰吸引の第3号研修の適宜実施とOJTの内容を精査する。OJTでは研修担当、キャリアパス関連を重視し複数参加で情報の共有化を図った。

6、栄養ケアマネジメントについて

新年度から栄養ケアマネジメントの再開を予定。その準備として個別支援計画との関係性について再検討をおこなう。

7、安全防災の確立

「避難確保計画」に基づいた訓練を重点的に行う。懸案事項であった防災備品や備蓄品の保管は松川事業所の一部を防災倉庫として活用した。

8、施設整備関係

慈恵園の地域小規模施設の建設により取得した施設東側用地の駐車場工事について今後検討していきたい。

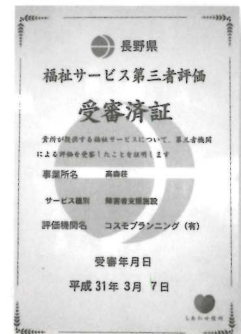
平成19年度開設の身体障害者向け住宅「生活ホーム高森」(高森町下市田)の解体工事を実施する。

モニターでバイタルサインが確認できる見守り支援機器を4台購入。労働環境改善、急変に伴う精神的負担の軽減に繋がった。



平成30年度 苦情解決の結果	
①職員の待遇に関するもの	0件
②サービスの質・量に関するもの	0件
③事故、被害、損害に関するもの	0件
④事業所運営等に関するもの	0件
⑤契約内容に関するもの	0件
⑥事業所の建物の構造に関するもの	0件
⑦利用者のトラブルに関するもの	1件
⑧その他(物品に関するもの)	1件
合計	2件

第三者評価受審



安全防災委員会

地震や河川の氾濫。近年では被害を受けたまちの様子が毎年のようにテレビや新聞で大きく報じられております。大災害時代とも言われている現在。世間では防災の意識が高まっているように感じます。

高森荘でも水害、火災(日中・夜間)、地震と様々な状況を想定した避難訓練を定期的に行い、技術の向上や修正箇所の把握に努めています。その他にも3月には飯田の大火を題材とした大型紙芝居を飯田市日赤奉仕団紙芝居班の皆さんに上演して頂くなどして、楽しみながら防災意識を高めてもらうような取組も行っております。

地元の皆さんとの定期的な交流も大切です。毎年、春には地元消防団の皆さんの巡察。夏には消防署、消防団、地



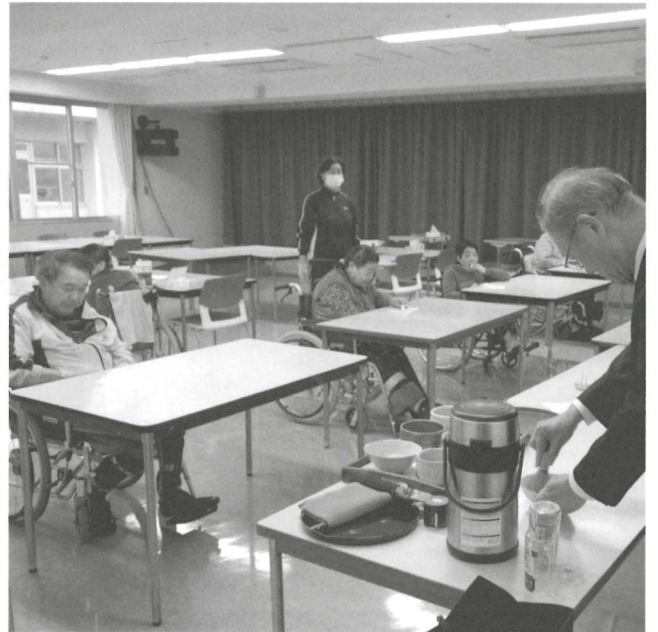
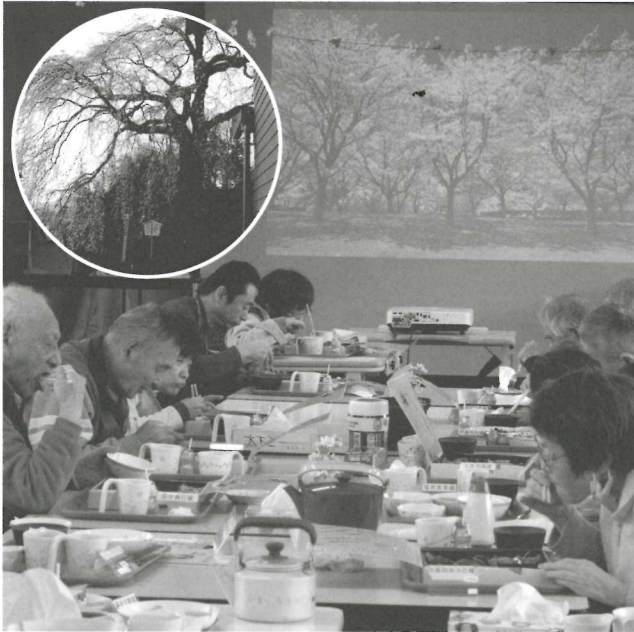
元住民の皆さんと共に防災訓練や防災協定会議を行うなどして高森荘について知って頂く機会を設けています。

施設の特性上、災害が起きた際には地元住民の皆さんの助けが必要となる事は間違いありません。しかし頼ってばかりではいられません。避難所としての活用等、皆さんにも頼って頂けるような施設を目指し、これからも地域と共に歩んでいけたらと考えております。

3アップ月間

平成31年4月（令和元年の5月までの1ヶ月間）「3アップ運動」を高森荘利用者皆で取り組みました。3アップとは「気力・体力・生活」の3つをアップさせてみようという取り組みです。丁度、年度や元号が変わるこの節目の時を迎え、自分たちの生活に少しでも張りを持てるよう、見直すきっかけになればと思います提案し、自治会の方々に賛成してもらい、意見をいただきながら実現しました。

取り組みの内容は、生活に良い事、自分で出来ることを自分で考え目標にする。目標を文字にして用紙に記入する。毎日取り組む。月の中間、月末に自分で評価する。決して強制ではありません。ユニークで楽しい目標も数多くありました。多くの皆さんが、自分なりに目標に取り組んでくれました。この活動が、利用者さんの生活の向上、充実の一助になってくれれば幸いです。



お花見週間

季節の行事

初釜

1月28日に、「初釜」のレクを行いました。法人の福澤常務理事を講師に迎え、抹茶と干菓子をいただきました。

松や南天で飾られ、お香の香りもした会場は、雰囲気も高まりました。三十人以上の利用者さんが参加されましたが、食形態にも注意し全員が美味しくいただくことができました。

初めて行った行事でしたが、利用者さん達の笑顔がたくさん見られて良かったです。

4月1日からの一週間で「お花見週間」と銘打ち春や桜にちなんだ企画を行いました。

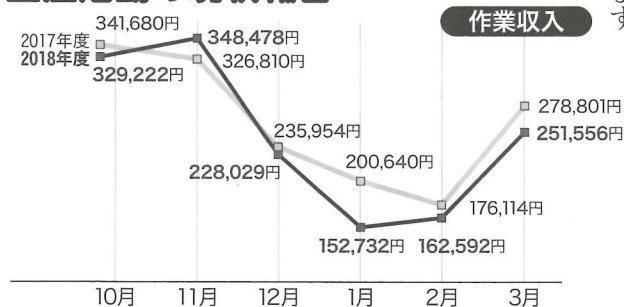
内容は、華やかな春をイメージした食堂の飾りつけ、開園記念日とそれに合わせた昼食に桜コンサート、お花見ドライブ、エアお花見、お花見弁当と盛りだくさんの内容となりました。メインのドライブは、4月上旬の気温の低下と、当日の天候不順で満開の桜は見る事が出来ませんでした。が、徐々に外出される方もおり楽しんで頂けた様子でした。

生産活動

作業量が減少する中、生産活動の在り方について利用者さんに聞き取りを行いました。利用者さんはそれぞれ色々な目的を持って生産活動に臨んでいます。お金を稼ごうという方、余暇の中で皆と共通の時間を過ごしたい方、指先など身体を動かしたい方など様々です。

社会とのつながりとしての役割もあり、作業の受注内容で季節を感じることもあります。それぞれの想いに応えながら、これからも生産活動を続けていきたいと考えております。

生産活動の現状報告(下半期)～前年度との比較～



2018年12月～2019年5月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



利用者保護者交流会



12/1 保護者会 後期環境整備
利用者・保護者交流会

12/6 感染症講習会

12/10 一日園長

竜口地区長
中平正博 様

12/27 おやす作り

竜口老人クラブ
7名



保護者会 後期環境整備



おやす作り



一日園長

2/1 節分

上平老人クラブ 6名

2/18 水害移送訓練

3/7 山吹ふれあい広場

3/13 双葉会交流会

3/18 春季火災避難訓練



節分



春季火災避難訓練



山吹ふれあい広場

4/1 開園記念日

4/2 お花見



双葉会交流会

編集後記

今年度がスタートして7ヶ月が過ぎました。

4月にはドライブレクでお花見に行き、きれいに咲く桜の花や春の暖かい風に触れ、季節を感じる事ができました。別の日には園内にてお花見弁当を食べ、普段とちがう食事にもおなかも大満足でした。

また、今年度から自分が立てた目標を紙に書き、それぞれ目標に向けて取り組む3アツ運動も始まりました。一つでも目標が達成できるよう皆で取り組み頑張っています。

これからも利用者、職員が一人丸となり楽しく元気に過ごせるよう計画実行していければと思っています。



実習・研修の受け入れ

● 2月4日・3月12日
飯田養護学校実習 1名
● 2月12日～23日
松本短期大学実習 2名